

歌碑コース

2024年12月

No.	時間	ポイント	へえ～？
	10:00	近鉄奈良駅	挨拶 諸注意 今日のコース概要（平城京図）歌碑について
1	10:10	行基像	668～749 思し召しの柿 ボランティアの先駆け 大仏建立の勸進役⇒像の向き
2	10:20	東向商店街	名前の由来 当時の興福寺の力
3	10:25	南都銀行	旧奈良県庁・日銀本店と同じ 長野宇平治の設計 1926年 ネオルネッサンス様式 有形文化財
4	10:30	餅飯殿通り	理源大師（空海の孫弟子 先達 醍醐寺）と箱屋勘兵衛（先達）の 大峰山大蛇退治
5	10:35	道路元標 里程元標	T9道路法施工例 各市町村に1基 全国に12000基 M6 起点（東京日本橋 京都三条 大橋）から何里 奈良時代から幹線道路
6	10:40	高札所	8世紀以降法令を民衆に周知 現代版 ユーモアある表記も ムクノキ
7	10:45	猿沢池 采女神社	749年興福寺の放生池として七不思議（澄まず、 濁らず、出ず入らず、蛙はわかず、藻は生えず、 魚七分に水三分） 昇竜伝説 奈良八景の一つ 采女伝説 采女祭
		柿本人麻呂 歌 補足資料⑦ 帝 歌 補足資料⑦	吾妹子が寝くたれ髪を猿沢の 池の玉藻と見るぞ悲しき 猿沢の池もつらしな我妹子が 玉藻かつかば水もひなま
			大和物語 大和物語
8	11:05	会津八一歌碑 補足資料⑧	わぎもこが きぬかけやなぎ みまくほり いけを めぐりぬ かさきししながら 六道 52段
9	11:15	会津八一歌碑 補足資料⑨	はるきぬ と いまか もろびと ゆき かへり ほとけの にはに はなさくらし
			南京新唱
10	11:25	バスターミナル前 伊勢大輔歌碑 補足資料⑩	いにしえの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にはいぬるかな
			百人一首61番
11	11:35	県庁東交差点 作者不詳歌碑 補足資料⑪	見渡せば 春日の野辺に 霞立ち 咲きにはへるは 桜花かも
			(10-1872)
12	11:45	氷室神社 大伴家持歌碑 補足資料⑫	春日奥山に造られた氷室が始まり。 5月1日献氷祭 しだれ桜 夕座舞楽 うらうらに 照れる春日に ひばりあがり 情 悲しもひとりおもへば
			(19-4292)
13		仁徳天皇歌碑 補足資料⑬	高き屋に登りて見れば煙立つ民の かまどはにぎはひにけり
			新古今集

No.	時間	ポイント	へえ～？
14	12:00	東屋	昼食
15	12:35	南大門	鎌倉時代の再建 天竺様式 重源上人の苦勞 ねじれた柱 金剛力士像 (29人、69日、3000パーツ)
16	12:45	真言院前 会津八一歌碑 補足資料⑩	おほらかに もろての ゆびを ひらかせて おほき ほどけ は あまたらしたり 南京新唱
17	12:55	東大寺中門	大仏殿 世界一の木材建築 昭和の大改修 広慶
18	13:10	大仏殿裏西 光明皇后歌碑 補足資料⑪	我が背子(せこ)と、ふたり見ませば、 いくばくか、この降る雪の嬉しからま (8-1658)
19	13:25	二月堂 上堂せず	十一面悔過 修二会 松明 生飯 良弁スギ ザクロ タラヨウ 閼伽井屋
20	13:40	二月堂裏 松尾芭蕉歌碑 補足資料⑫	水とりや籠りの僧の沓の音 氷 芭蕉翁発句集 野ざらし紀行
21	13:50	三月堂(法華堂)	建物は奈良時代と鎌倉時代の融合 不空羼索観音菩薩立像 世界三大宝冠
22	14:00	手向山神社 菅原道真歌碑 補足資料⑬	749年創建 ご祭神宇佐八幡宮より 応仁天皇 東大寺の守り神 10月5日転害門会 宝庫 このたびは 幣(ぬさ)もとりあへず 手向山 もみぢの錦神のまにまに 古今和歌420
23		湯原王歌碑 補足資料⑭	秋萩の散りのまがいに呼び立てて 鳴くなる鹿の声の遙(はる)けさ (8-1550)
24	14:15	若草山裾野 松尾芭蕉歌碑 補足資料⑮	奈良七重七堂伽藍八重ざくら 泊船集
25	14:30	春日大社 歌碑の前で説明 阿倍仲麻呂歌碑 補足資料⑯	藤原氏の氏神を祀る 万燈籠 リンゴの庭 スギ イブキ フジ 慶賀門、清浄門、内侍門 あまの原 古今和歌集(羈旅歌 406首目) ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に いでし月かも
26	14:40	阿波野青畝歌碑 補足資料⑰	玉砂利の 奏樂めくや 初詣 俳誌 ひいらぎ
27	14:45	日本武尊歌碑 補足資料⑱	倭(やまと)は 国のまほろば たたなづく青垣 山籠(やまごも)れる 倭(麗) 古事記中巻歌謡 30
	14:50	終礼	